

【地理総合】

<学習内容について>

- ① 持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察すること。
- ② グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察すること。
- ③ 地図や地理情報システム(GIS)などを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得すること。
以上の3点を、歴史総合と相互補完的な役割を果たしながら学習していく科目です。

<教材について>

教科書：「高等学校 新地理総合」（帝国書院）

地図帳：「標準高等地図」（帝国書院）

<レポートについて>

レポートの回数は前期3回、後期3回、年間で6回です。教科書の内容は、以下の通りです。

[前期]

第1部 地図でとらえる現代世界

第1章 地図と地理情報システム 第1節 地球上の位置と時差 第2節 地図の役割と種類

第2章 結びつきを深める現代世界 第1節 現代世界の国家と領域 第2節 グローバル化する世界

第2部 国際理解と国際協力

第1章 生活文化の多様性と国際理解

序 説 生活文化の多様性 第1節 世界の地形と人々の生活

第2節 世界の気候と人々の生活 第3節 世界の言語・宗教と人々の生活

第4節 歴史的背景と人々の生活 第5節 世界の産業と人々の生活

[後期]

第2章 地球的課題と国際協力

第1節 複雑に絡み合う地球的課題 第2節 地球環境問題 第3節 資源・エネルギー問題

第4節 人口問題 第5節 食料問題 第6節 都市・居住問題

第3部 持続可能な地域づくりと私たち

第1章 自然環境と防災

第1節 日本の自然環境 第2節 地震・津波と防災 第3節 火山災害と防災

第4節 気象災害と防災 第5節 自然災害への備え

第2章 生活圏の調査と地域の展望

第1節 生活圏の調査と地域の展望

<学習の進め方について>

教科書の本文を中心に、注釈・地図・表・グラフ・写真などの細かいところまでよく見ながら、レポートに取り組みましょう。地図帳で地名や場所を確認しましょう。記述の問題は、よく考えて自分の考えを論じましょう。どうしても分からないことは積極的に質問しましょう。

<スクーリングについて>

半期で2時間のスクーリングへの出席が必要です。自分の理解度に合わせて、スクーリングへの出席時数を

増やしてもよいでしょう。教科書・地図帳・筆記用具を持ってきていないと出席が認められません。気を付けましょう。

<評価について>

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して100点法で行い、30点以上を合格とする。

[知識・技能]

世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。

[思考・判断・表現]

位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に表現するなど、地理的に探究している。

[主体的に学習に取り組む態度]

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。